



郡山市へ要望書を提出しました

十二月二十六日、本会役員が市役所を訪れ、品川萬里郡山市長へ要望書を提出しました。

内容は、

- ①ゴミ集積所に関する要望
- ②公共施設の利用に関する要望
- ③空き地問題に関する要望
- ④河川に関する要望
- ⑤公園に関する要望
- ⑥消防・防災に関する要望
- ⑦道路の維持管理に関する要望
- ⑧学区に関する要望

の八分野二十三項目に渡り、要望書を受取った品川市長は、「どれも重要な課題だと認識しており、できるだけ町内会に寄り添

った回答をします。同じ郡山に住む者として、共に課題解決を目指しましょう。」と述べました。

その後、本会役員と品川市長とで懇談を行い、地域現場の声を直接市長に届けました。

なお、要望書及び回答の詳細については、別途お知らせいたします。



全国自治会連合会宮城県仙台大会に参加

本会の鈴木光二会長が会長を務める全国自治会連合会の全国大会が、十一月十日、宮城県仙台市の仙台国際センターで開催され、本会からも、役員や理事を中心に三十一名が視察研修を兼ねて参加いたしました。

鈴木会長は、「町内会は、子どもからお年寄りまで楽しく参加できる組織でなくてはなりません。本日ご参加の皆様方には、町内会の運営に際して、会員がいつも気持ちよく活動に参加できるように、先達者としての自覚とゆとりを持ち、優しく寄り添う気持ちで環境を整え、導いてください。」とあいさつしました。

第一部の式典の部では、全国自治会連合会表彰式が行われ、本会の会計を務める影山洋二さん（むつみ町内会）が、表彰を受賞されました。

また、第二部の活動発表の部では、北海道、東北、関東、中部、近畿、中国・四国、九州・沖縄の全国七ブロックのそれぞれの代表から、安全・安心なまちづくりや自主防災の取り組み、魅力ある地域づくりなどの多様な活動が紹介され、全国の先進事例を学びました。



## 専門部会活動報告

### <主な研修内容>

○空家等の対策は、平成27年5月施行の特別措置法により、国が統一的な指針（基本方針）を示し、市町村が計画を策定することになった。

※国の基本方針では、1年以上使用されていない建物を空家等としている。

○危険な状態にある空家である「特定空家等」については、措置の助言又は指導、勧告、命令が可能となり、最終的に行政代執行の実施についても可能になった。「特定空家等」の指定及びその措置の検討については、有識者による郡山市空家等対策審議会において行っていく。

○比較的状态の良い空家については、所有者の意向を確認しつつ、「空家バンク」制度の創設など利活用を検討していく方針。

○市において空家の実態調査、所有者へのアンケート調査を実施しているが、その際、隣近所や町内会が持つ情報が手がかりとなりうるので、協力を要請される可能性がある。

環境部会では、十月二十七日、市役所住宅課の職員を招き、空家問題に関する勉強会を行いました。近年、少子高齢化の進展や単身世帯の増加等により、空家問題は深刻化している一方で、平成二十七年の国の制度改正により、具体的な対策が講じられるようになってきました。地域の住環境の向上という共通のテーマのもと、行政と連携して空家問題に取り組んでいきましょう。

### 【環境部会】 空家問題に関する勉強会

### <主な研修内容>

○セーフコミュニティの取り組みは、ケガや事故の原因を、データをもとに客観的に探り、その予防に努めていくことが特徴。

○セーフコミュニティの活動は、一つの団体が全て引き受けるわけではないが、各対策委員会が立案する具体的な対策メニューの中には、新たに地域で取り組むべき活動や、既に多くの地域で取り組まれている活動も含まれる可能性もあり、無理のない範囲で継続していくことが重要である。

○具体的な対策を実行していく中で、効果を検証し次の活動に活かしていくことになるので、その効果測定へのアンケート等に町内会として協力を要請されることがある。

○各町内会や連合会が日頃から行っている活動でも、セーフコミュニティの取り組みを正しく知ることにより、意義が増したり、活動を改善するヒントが得られたりする。

○市民安全課では、セーフコミュニティに関する出前講座を行っているので、利用して欲しい。（☎924-2151）

社会部会では、十二月九日、市役所市民安全課の職員を招き、セーフコミュニティに関する勉強会を行いました。平成二十六年十一月に市が取り組みを宣言し、これまで、データ分析の結果を「地域診断」としてまとめ、データをもとに各分野別対策委員会がワークショップ形式での討議を重ねてきました。今後は、平成二十九年四月頃から具体的な対策の実行に移り、平成二十九年度中の認証取得を目指しています。

### 【社会部会】 セーフコミュニティに関する勉強会

組織部会では、一月二十九日、就任一年目の町内会長を対象に、「第二回新任町内会長座談会」を開催しました。座談会には、十三名の新任町内会長が出席し、およそ一年間、会長職を務めて経験して感じてきたことなどを、連合会の役員と意見交換しました。

### 【組織部会】 第二回新任町内会長座談会

会議では、ごみ問題や町内会の組織率の低下など共通の課題があるものの、助け合いの精神により地域づくりを行う町内会活動の重要性は、今後も変わらないことなどを確認しあいました。

鈴木会長からは、自らの町内会長としての経験のみならず、全国の会長として得た事例などからアドバイ스가送られ、参加者からは、「先輩会長の話や配布資料がとても参考になった。」と感想が寄せられました。

